

みずほCustomer Desk Report 2018/09/25号(As of 2018/09/24)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	112.53	1.1748	132.27	1.3080	0.7277
SYD-NY High	112.84	1.1815	133.05	1.3167	0.7281
SYD-NY Low	112.27	1.1724	131.91	1.3056	0.7248
NY 5:00 PM	112.80	1.1748	132.48	1.3118	0.7252
NY DOW	26,562.05	▲ 181.45	日本2年債	-	-
NASDAQ	7,993.25	6.29	日本10年債	-	-
S&P	2,919.37	▲ 10.30	米国2年債	2.8191	1.70bp
日経平均	-	-	米国5年債	2.9684	1.73bp
TOPIX	-	-	米国10年債	3.0880	2.24bp
シカゴ日経先物	23,735.00	▲ 35.00	独10年債	0.5070	4.75bp
ロンドンFT	7,458.41	▲ 31.82	英10年債	1.6130	6.15bp
DAX	12,350.82	▲ 80.06	豪10年債	2.7050	0.85bp
ハンセン指数	27,499.39	▲ 454.19	USDJPY 1M Vol	6.30	▲ 0.08%
上海総合	-	-	USDJPY 3M Vol	7.20	▲ 0.02%
NY金	1,204.40	3.10	USDJPY 6M Vol	7.61	▲ 0.04%
WTI	72.08	1.30	USDJPY 1M 25RR	-0.58	Yen Call Over
ORB指数	194.78	0.81	EURJPY 3M Vol	8.59	▲ 0.07%
ドルインデックス	94.19	▲ 0.03	EURJPY 6M Vol	8.96	0.03%

【昨日の指標等】

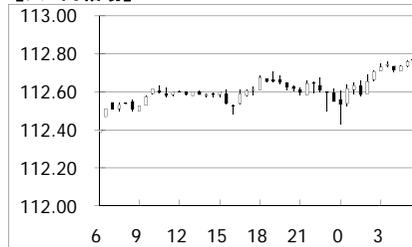
Date	Time	Event	結果	予想
9月21日	08:30	日 CPI/コアCPI/コアCPI(前年比)	8月 1.3%/0.9%/0.4%	1.1%/0.9%/0.4%
	17:00	欧 マークイット製造業PMI・速報	9月 53.3	54.5
	22:45	米 マークイット製造業PMI・速報	9月 55.6	55.0
9月24日	17:00	独 IFO企業景況感指数/期待指数/現況指数	9月 103.7/101.0/106.4	103.2/100.5/106.0
	21:30	米 シカゴ連銀全米活動指数	8月 0.18	0.20
	23:30	米 ダラス連銀製造業活動指数	9月 28.1	31.0

【本日の予定】

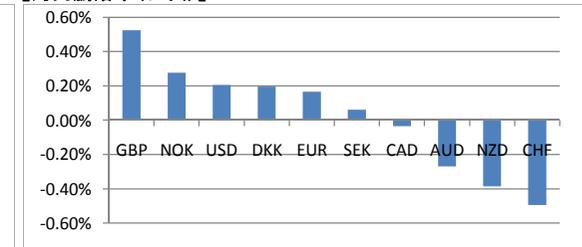
Date	Time	Event	予想	前回
9月25日	08:50	日 日銀金融政策決定会合議事要旨	7/31分 -	-
	14:30	日 黒田日銀総裁会見	-	-
	23:00	米 リッチモンド連銀製造業指数	9月 20	24
	23:00	米 コンファレンスボード消費者信頼感	9月 132.1	133.4
9月26日	-	米 FOMC(9/25-9/26)	-	-

アジア	アジア時間のドル円は112.53レベルでオープン。現在、訪米中の安倍首相よりトランプ米大統領との夕食会で「貿易問題について建設的な議論ができた」とのコメントが伝わるも、マーケットの反応は限定的となった。また事前発表通り、米国は2,000億ドル相当の中国製品に対して10%の追加関税を発動。その後、中国は対米貿易摩擦に関する白書を発表し、「米国が関税の脅しを続ける限り、米国との協議は実現しない」との立場を示したため、今週予定されていた米中間級協議は中止となった。しかし、東京・上海市場といったアジアの主要マーケットが休場となる中、ドル円は112.60を挟んで小幅なレンジ内の値動きに終始し、結局112.54レベルで海外市場に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、112.54レベルでオープン。東京休場の中、ドル円は極めて狭いレンジで推移し112.59レベルでNYに渡った。欧州時間の値幅は20銭程度であった。ポンドドルは、1.3068レベルでオープン。欧州時間朝頃、英ラブ欧州連合離脱担当相が離脱を巡る交渉が最終的に合意に至ると確信している旨をコメント。これを受けてポンド買い基調になりポンドドルは1.3154まで買われた。1.3151レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	米国が本日から中国製品の輸入に10%の関税を適用させたことから、中国が今週の米国との貿易交渉を取りやめたものの、東京市場が休場で閑散な取引の中、ドル円の反応は限定的となるが、米企業による英企業買収や、英国のラブEU離脱担当相とドイツのロス外務副大臣がまだブレグジットのデールは可能性があるとの見方を示したことがあり、ポンド円、ユーロ円が上昇する動きにドル円も連れ高となり、海外市場で112.70まで上昇し、112.59レベルでNYオープン。NY朝方は、ユーロ買いドル売りが先行し、ドル円は112.50まで反落する。その後やや戻す局面もあったものの、上昇していたポンド円、ユーロ円が利益確定の売りに下落する展開に、112.43まで下落する。NY午後、明日(9/25)の朝に予定されている国連でのトランプ大統領の統治権などに関するスピーチや明日(9/26)のFOMC結果発表を控え、ドルが買い戻される展開に、ドル円は112.76まで戻す。終盤に掛けては米韓が自由貿易協定の見直し交渉が完了し、署名したとの報道を受け、リク志向から112.84まで上昇し、112.80レベルでクロスした。一方、ユーロドルは、1.1764レベルでNYオープン。NY朝方は、欧州議会でドラギECB総裁がインフレ上昇について「比較的力強い」とか派な見方を示したことや、米アハル会社による伊アハル会社の20億ドル相当の買収発表が近いとの報道を受けユーロ買いが強まったことから、ユーロドルは1.1815まで上昇する。その後はドルが買い戻される展開に1.1756まで反落する。NY午後に入り1.1775まで戻す局面もあったものの、ドル買い戻しが継続したことから1.1745まで下落し、1.1748レベルでクロスした。

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	112.40-113.10	1.1700-1.1800	132.00-133.00

【マーケットインプレッション】

ドル/円は3日続伸し113円台手前まで上昇した。米中貿易戦争の激化が伝わるものの、今回は既に三度目の発動であることや、より重大な日米貿易協定が25日夜に延期となったこと等で大きく反応を見せることはなかった。昨日ダウが下げたことにより、本日の日本株も下げることが予想され、ドル/円は113円を目前に頭重く推移すると思われる。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:加藤・田家